

令和 4 年 6 月 8 日現在

機関番号：32644
 研究種目：基盤研究(B) (一般)
 研究期間：2017～2020
 課題番号：17H04473
 研究課題名(和文) 中小企業の「健康経営」推進に向けた保健師の専門能力の明確化と支援モデルの開発

 研究課題名(英文) Clarification of competency of public health nurses for promotion of health and productivity in small and medium-sized companies and development of support model

 研究代表者
 錦戸 典子(Nishikido, Noriko)

 東海大学・医学部・教授

 研究者番号：10172644

 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,900,000円

研究成果の概要(和文)：中小企業の経営者等へのインタビュー調査結果などを基に、「中小企業ならではの健康経営」の評価基準項目として独自に開発した項目を含む、従業員への質問紙調査を実施した。生活習慣やメンタルヘルスに対する健康支援・環境整備などの健康に関する取り組みのほか、長期的な経営の視点に基づく公正な評価・成長支援ならびに職場での相互支援ができるしくみ・体制づくりなどの経営に関する取り組みが、ワークエンゲイジメントに有意に関連していた。また、中小企業における健康経営推進に向けた開業保健師による支援プログラムを開発・展開し、支援プロセスと成果を多面的に明らかにした。今後の中小企業における健康経営の普及推進につなげたい。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により、中小企業経営者の視点を含めた、中小企業ならではの「健康経営」に関する新たな評価指標をまとめることができた。また、中小企業における「健康経営」の推進に向けて地域・職域の保健師がどのように支援しているかを調査するとともに、開業保健師を活用した支援モデルを開発して実際に支援を展開し、その支援プロセスと成果を多面的に明らかにすることができた。中小企業における健康経営の推進に向けて、本研究の成果を中小企業の経営者・従業員、および中小企業に係る関連職種に周知していきたい。

研究成果の概要(英文)：We conducted questionnaire survey for workers of small and medium-sized enterprises (SMEs) including originally developed evaluation items for health and productivity in SMEs. In addition to health support measures such as improvement of worker's lifestyle and mental health, management measures such as fair evaluation and growth support for workers correlated significantly with work engagement of workers. We also developed support program by independent occupational health nurses for SMEs to promote health and productivity and clarified their support process and outcomes. We hope our research findings will contribute to promoting health and productivity in SMEs.

研究分野：産業保健看護学

キーワード：中小企業 健康経営 保健師 コンピテンシー 支援モデル・ツール 経営分野 産業保健分野 連携協働

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

大企業と比較した中小企業で働く労働者への健康支援対策の遅れが健康格差として指摘されており、その是正が喫緊の世界的課題となっている。一方、従業員の健康が企業の最大の財産であり、生産性向上や経営安定につながるとする Healthy Company の概念 (Robert Rosen, 1992) に由来する「健康経営」の考え方が近年注目されている。2014年度から経済産業省と東京証券取引所が協働で「健康経営銘柄」企業を選出しているが、これまで「健康経営」を導入しているのは大企業が殆どであり、中小企業での健康経営理念に基づいた実質的な活動の浸透は困難な状況であった。申請者は、以前から、中小企業にこそ「健康経営」の考え方を普及する意義があると考え、さらにその幅広い専門性と調整能力から「健康経営」の推進に保健師が貢献できる可能性が高いことを指摘してきた (錦戸典子; 2009, 2015, 2016)。経営分野との協働を試みた挑戦的萌芽研究 (2014-15年) では、中小企業での良好実践事例の特徴として、経営者の考え方や経営方針の及ぼす影響が非常に強く、従業員とその家族を大切に自ら声かけするなど、大企業とは違う側面があることを見出した。経済産業省や東京商工会議所による研修会など、中小企業にも「健康経営」を上げようとする動きが2016年から始まっているが、大企業の活動手法を紹介するだけでは中小企業での持続的な取組みにはつながらないと危惧される。がんなどの病気や難病・障がいを持っても安心して働ける職場づくりも近年求められている。実質的に中小企業での「健康経営」を推進するために、大企業とは異なる経営基盤や職場風土を考慮した中小企業ならではの「健康経営」概念やその構成要素を、中小企業経営者らとともに検討し、中小企業の特性・ニーズに沿った支援方策を検討する必要があると考え本研究の着想に至った。

2. 研究の目的

(1) 中小企業ならではの「健康経営」とその構成要素の明確化

中小企業経営者の視点から、大企業とは異なる中小企業ならではの「健康経営」について検討し、その構成要素を明確化する。また、その推進に有効な支援モデル・ツールの検討に向けて、中小企業における「健康経営」への取組み状況および職場風土等との関連を明らかにする。

(2) 中小企業の「健康経営」推進に向けた保健師の専門能力の明確化

中小企業の「健康経営」の推進に向けて、地域・職域の保健師がどのような点に留意して支援しているのか、保健師としての専門能力 (コンピテンシー) を明らかにする。

(3) 中小企業での保健師を活用した支援モデル・ツールの開発と検証

中小企業の「健康経営」の推進に向けて、開業保健師を活用した支援モデルを開発し、その効果を保健師だけでなく企業関係者の視点から明らかにする。また、中小企業における「健康経営」の推進への保健師の活用可能性について企業関係者に広く周知するためのツールを開発し、その実用可能性を吟味する。

3. 研究の方法

(1) 中小企業ならではの「健康経営」とその構成要素の明確化

中小企業経営者の参画を得て、現場目線からも持続可能な中小企業ならではの「健康経営」と、その構成要素を検討した。具体的には、中小企業における健康経営に関する文献レビューや関係者ヒアリングの分析結果資料を提示しながら、中小企業の経営者によるフォーカス・グループ・インタビュー (FGI) を行い、中小企業における「健康経営」に関連する経営理念や経営者が抱えている思いと実際に取り組んでいる内容に関して話し合ってもらった。これらのデータを内容分析し、中小企業経営者の視点での「健康経営」についてカテゴリー化した。その結果を基に、中小企業の経営問題に詳しい経営分野の研究者4名と、中小企業における健康支援に詳しい産業保健分野の研究者4名が繰り返し討議して、中小企業ならではの「健康経営」の要素として、中小企業における健康への取り組み項目、ならびに経営への取り組み項目の案 (ver.1) を作成した。その後、先行研究や、経済産業省等で展開されている健康経営推進の動向なども参考に、中小企業の健康経営の評価基準ならびに推進ツールともなり得る項目リストとして、より精緻化した案 (ver.2) および最終版 (ver.3) を作成した。

これらの中小企業ならではの健康経営の評価基準ならびに推進ツールともなり得る、健康に関する取り組み項目および経営に関する取り組み項目、ならびに、ワークエンゲイジメント、心理的安全性、基本的属性等を含む質問紙を作成し、研究の趣旨に同意の得られた企業経営者ならびに従業員への質問紙調査を実施した。健康経営に係る項目を内容分析により整理するとともに、それらの取り組みの実施状況およびワークエンゲイジメント等との関連を検討した。

(2) 中小企業の「健康経営」推進に向けた保健師の専門能力の明確化

中小企業への支援に係っている開業保健師、および地域産業保健センター・労働衛生機関・自治体の保健所・保健センター等に所属している保健師が、それぞれ中小企業の「健康経営」の推進に向けて、多職種と連携してどのように支援しているか、インタビュー調査を行った。聞き取った内容を逐語録に起こし、健康経営推進に向けた保健師としての専門能力 (コンピテンシー)

について語られた部分をコードとして抽出し、内容分析の手法に準じてカテゴリー化した。

(3) 中小企業での保健師を活用した支援モデル・ツールの開発と検証

中小企業の「健康経営」の推進に向けて、開業保健師を活用した支援モデルを開発し、実際の企業に試験的に導入した。具体的には、中小企業への健康支援活動に経験の深い開業保健師が5回にわたり企業のニーズに沿った支援を展開し、その支援プロセスと成果の記録を求めた。また、支援側である保健師だけでなく受援側である企業関係者の視点からも支援の成果を検討するために、支援終了後に、研究者が聞き手となり、開業保健師と企業関係者の各々を対象としたインタビュー調査を実施した。インタビュー結果より、主な支援プロセスと成果のコードを抽出し、内容分析の手法を用いてカテゴリー化した。

また、研究全体を通じて得られた、中小企業における「健康経営」の推進への保健師の活用可能性についての知見を企業関係者に広く周知するためのツールとして、適切と考えられるツールを検討・開発し、開業保健師や企業関係者等の意見から実用可能性を検討した。

4. 研究成果

(1) 中小企業ならではの「健康経営」とその構成要素の明確化

健康経営に関連して、中小企業経営者が大事にしている経営理念や思いと、社員が元気で仕事ができるよう行っている工夫などの取り組みに関して、FGIで得られたデータを内容分析した結果、経営者が大事にしている経営理念・思いとしては、「社員が幸せに生き生きワクワク働ける職場をつくりたい」「社員の心身の不調は経営に直結する」「成長感やモチベーションを上げることが大事」等の7つのカテゴリーが抽出された。取り組みに関しては、「社員の働く意欲を引き出す工夫」「経営者自ら社員とコミュニケーション」「障害や病気を持つ社員も継続して働けるよう働き方や休み方に配慮」等の6つのカテゴリーが抽出された。

質問紙調査データを用いて、「健康に関する取り組み」項目について因子分析を行った結果、【生活習慣やメンタルヘルスに対する健康支援・環境整備】等の4因子が抽出された。「経営に関する取り組み」項目についても同様の分析を行い、【長期的な経営の視点に基づく公正な評価、成長支援】等の6因子を抽出した。これらの因子得点が離職率やワークエンゲイジメントに関連していることが明らかとなった。

(2) 中小企業の「健康経営」推進に向けた保健師の専門能力の明確化

開業保健師へのインタビュー調査の結果、開業保健師の取り組み姿勢として「企業の活動目的を念頭に置き、個別性を大切にする」「入念な準備とアセスメントを大事にじっくりとかかわる」「自身の信念とともに、経営者・担当者が必要とするものを大切にする」「会社の自助力を信頼する」等の9つのカテゴリーが抽出された。組織(経営者・担当者)への支援としては、「保健師活動の専門性を理解してもらう」「企業にとって無理のない活動を支える」「タイミングを見ながら支援を行う」「経営者/担当者の主体的な活動を支える」等の6つのカテゴリーが生成された。従業員支援としては、「従業員が安心して相談できる環境をつくる」「従業員の関心に沿った実現可能な支援を行う」等の4つのカテゴリーが生成された。

(3) 中小企業での保健師を活用した支援モデル・ツールの開発と検証

(2)の研究成果を基に、研究者と開業保健師とで繰り返し検討した結果、中小企業における健康経営を促進するためには、「保健師かつ経営者であることを大切にする」などの開業保健師としての価値観を基盤に、「企業の活動目的を常に考え、個別性を大切にする」「会社の自助力を信頼する」など中小企業への支援全体に共通する基本的姿勢を常に確認しながら、企業支援の展開過程に応じた行動様式に留意して関わるのが大切であるとの示唆を得て、中小企業への保健師を活用した支援モデルに盛り込んだ。

作成した支援モデルに基づいて、中小企業への健康支援活動に経験の深い開業保健師を支援者とした中小企業への支援プログラムを展開した結果、各企業の背景やニーズに応じて幅はあるが、初回の支援では外部資源である開業保健師自身が各企業関係者との信頼関係構築に注力しつつ情報収集につとめ、各企業の状況と支援ニーズを把握し、支援計画・方法を吟味しながら、徐々に働きかける動きが共通して見られた。支援内容としては、各企業の特性に合わせた健康課題別の支援のほか、特殊健診を含む健診後の事後措置の推進や、企業外資源の活用支援など、各企業の健康推進体制の強化に関する支援なども見られた。開業保健師による支援の成果としては、自社の取り組みの振り返りの機会となり更に出来る施策に気づけた、経営者・人事労務担当者の取り組み意欲が高まった、外部資源を活用しながら継続的に取り組めることがわかった、などのカテゴリーが抽出された。

中小企業の健康経営に保健師が活用できることを周知するツールについては、その内容や媒体を検討した結果、健康経営の重要性を訴えるストーリーに基づく漫画仕立てのリーフレットを作成し、企業関係者および開業保健師から一定の評価を得た。今後の中小企業における健康経営推進実装化に向けた企業等への周知活動に活かしていきたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 3件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 錦戸典子	4. 巻 27(4)
2. 論文標題 コミュニティとメンタルヘルスの未来を考える 保健師の立場から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 産業精神保健	6. 最初と最後の頁 277-284
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤美千代	4. 巻 74(6)
2. 論文標題 健康管理と仕事の両立を職場と地域で支える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 労働の科学	6. 最初と最後の頁 35-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikido, N., Sasaki M., et al.	4. 巻 1(1)
2. 論文標題 Development of a support tool for balancing cancer treatment and work in small and medium-sized enterprises.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Environmental and Occupational Health Practice	6. 最初と最後の頁 13-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川真子、錦戸典子	4. 巻 26
2. 論文標題 わが国の職域におけるソーシャル・キャピタルと健康影響に関する研究動向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 産業精神保健	6. 最初と最後の頁 409-416
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木美奈子	4. 巻 70
2. 論文標題 看護職が働き続けられるヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)をつくる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 看護	6. 最初と最後の頁 8-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤美千代	4. 巻 22
2. 論文標題 産業保健が、経営戦略、退職後の健康保持・増進、労働者や働き方の多様化に応えるための課題を考える(解説)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 健康開発	6. 最初と最後の頁 4-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 錦戸典子	4. 巻 第29巻特別号
2. 論文標題 コロナ禍における働き方の変化と職場のメンタルヘルス対策ー産業看護職の立場から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 産業精神保健	6. 最初と最後の頁 70-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安部仁美、錦戸典子、吉川悦子、佐々木美奈子、伊藤美千代、渡井いずみ	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 良好事例からみた中小企業におけるがん治療と就労の両立支援の内容と関連する職場風土	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 健康開発	6. 最初と最後の頁 58-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noriko Nisikido, Etsuko Yoshikawa, Minako Sasaki, Jun Sudo, Mai Mochizuki, Michiyo Ito, Izumi Watai	4. 巻 58(4)
2. 論文標題 Support for balanced cancer treatment and work by occupational health nurses: support structures and implementation status.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Industrial Health	6. 最初と最後の頁 354-365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 佐々木美奈子、伊藤美千代、山本由加里、錦戸典子、吉野純子、三橋祐子、島本さと子、崎山紀子、石川真子
2. 発表標題 中小企業の健康づくりを推進する保健師実践：行政保健師の立場からいかに働きかけるか
3. 学会等名 第92回 日本産業衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川真子、錦戸典子
2. 発表標題 産業看護職による職場のメンタルヘルス対策の実施状況，困難感，知識・技術の保有感に関連する要因の検討
3. 学会等名 第26回 日本産業精神保健学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 錦戸典子
2. 発表標題 コミュニティとメンタルヘルスの未来を考える～保健師の立場から～
3. 学会等名 第26回 日本産業精神保健学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田 瑞葉, 野村 洋子, 平林 早苗, 西脇 有希, 加藤 晃世, 齋藤 雅弥, 鈴木 仁一, 錦戸 典子, 島本 さと子
2. 発表標題 相模原市の地域・職域連携(第2報) 中小企業健康経営普及に資する事業所訪問の取組
3. 学会等名 第78回 日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤美千代
2. 発表標題 産業看護学体系化に向けた活動 集団・組織を看護するための産業看護アセスメント・看護診断の開発
3. 学会等名 日本看護診断学会第25回学術大会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 錦戸典子, 石川真子, 吉野純子, 崎山紀子, 三橋祐子, 島本さと子, 高橋はるな
2. 発表標題 中小企業ならではの「健康経営」の現状(第1報) 経営者の思いと取り組み
3. 学会等名 第7回日本公衆衛生看護学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤美千代, 佐々木美奈子, 板井麻衣, 錦戸典子, 石川真子, 吉野純子, 崎山紀子, 三橋祐子, 島本さと子
2. 発表標題 中小企業ならではの「健康経営」の現状(第2報) 安全衛生担当者の思いと取り組み
3. 学会等名 第7回日本公衆衛生看護学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 錦戸典子、高橋はるな、坂本光司、藤井正隆、岩崎龍太郎、近藤博子、黒崎由行
2. 発表標題 中小企業経営者の「健康経営」に関する認識および健康施策の実施状況
3. 学会等名 第4回人を大切にする経営学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 錦戸典子、佐々木美奈子、伊藤美千代、安部仁美、助川真由美、島本さと子、三橋祐子、吉野純子、崎山紀子、山本由加里、石川真子
2. 発表標題 開業保健師が中小企業の健康経営を効果的に促進するための支援モデルの開発
3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊藤美千代、佐々木美奈子、錦戸典子、崎山紀子、島本さと子、三橋祐子、吉野純子
2. 発表標題 開業保健師による中小企業を対象にした健康経営を促進するための支援内容
3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐々木 美奈子 (Sasaki Minako) (00302670)	東京医療保健大学・医療保健学部・教授 (32809)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三橋 祐子 (Mitsuhashi Yuko) (10580813)	東海大学・医学部・講師 (32644)	
研究分担者	島本 さと子 (Shimamoto Satoko) (10759179)	東海大学・医学部・講師 (32644)	
研究分担者	吉野 純子 (Yoshino Junko) (50290036)	東海大学・医学部・准教授 (32644)	
研究分担者	伊藤 美千代 (Ito Michiyo) (50550836)	東京医療保健大学・看護学部・准教授 (32809)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関